

令和6年度 第3回留萌市地域公共交通活性化協議会 議事録

1 日 時 令和7年2月26日（水） 14：30～

2 場 所 留萌市役所2階 第2委員会室

3 出席者 (1) 委 員 13名（欠席 村山委員）
(2) オブザーバー 1名（沿岸バス㈱ 岩井常務取締役）
(3) 随 行 1名（留萌振興局）
(4) 傍聴者 3名（報道機関3名）
(5) 事務局 3名（林事務局長、山下事務局次長、酒井事務局員）

4 会議次第

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

(3) 議 題

① パブリックコメントの実施結果（資料1）

② 留萌市地域公共交通計画の策定（資料2）

(4) そ の 他

(5) 閉 会

【会議概要】

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

(3) 議 題

① パブリックコメントの実施結果

※関連資料 資料1 「留萌市地域公共交通計画（案）」に対するパブリックコメントの実施結果（公表案）

意見・質問

特になし

② 留萌市地域公共交通計画の策定

※関連資料 資料2 留萌市地域公共交通計画（案）

意見・質問

（堀田委員代理）

- ・ 限られた人員、予算の中で継続して取り組みを進めていくことが重要

（佐々木委員）・ 人口減少社会が進む中、乗務員不足、利用者の減少が今後も続くと予想される。

- ・ 交通事業者はその時々ベストな運行体系を考えており、情勢の変化に応じて計画の見直しを行っていく必要がある。

（藤井委員）・ 人員が限られている中で運行を維持しなければならず、できることできないことがあるが、今後の対応については留萌市とも協議しながら検討していきたい。

（坂本委員）・ 労使ともに少ない人数の中で検討しており、今後も議論の結果などは情報提供していきたい。

（野口委員）・ 現在のスクールバスは交通安全の観点からも学校の中まで乗り入れている実情があるので、混乗化後も継続していただきたい。

- ・ 地域の方との混乗により、コミュニティの醸成などメリットも期待できる。

- ・ 留萌市における未来志向型の取組に期待しているとともに、高齢者乗務員の受け入れなどによって、地域全体で運転手不足を解消することができるような形も期待している。

- (田下委員) ・ 良い方向に向かっていけるよう、進んでいただきたい。
- (橋本委員) ・ JR廃線などまちづくりの大きな転換期を迎えているが、調査・研究としている施策について少しでも実施の方向に進めるよう、継続して協賛会で議論していきたい。
- (高田委員) ・ 計画案については現時点のまちの身の丈にあった最適な計画だと考える。
・ 今後も情勢や環境の変化に応じて、見直しを行うことが必要。
- (高島委員) ・ アンケート、ニーズ調査を踏まえた計画になっている。
・ 今後、様々な施策に取り組む中で、他市の成功事例をそのまま取り入れてもうまくいかないこともある。
・ 交通課題は地域それぞれの特徴があるので、地域の実情にマッチした施策に取り組んでいく必要がある。
・ 計画の実現に向け、国の補助等についても積極的に活用いただきたい。
- (高田委員) ・ 公共交通計画についてはまちの身の丈にあった形に最適化していく必要があり、今後も情勢や環境の変化に応じて、見直しを行うことが必要。
- (珍田委員) ・ 市民との意見交換会の参加人数等を見ても、公共交通に対する市民の関心度が薄い印象を持つ（情報が市民に行き届いていない）
・ 日東団地に住んでいる者としては、パブコメの意見は常時聞いているところであり、見晴通の開通時における解消を期待しているところ。
- (岩井常務取締役（オブザーバー）)
- ・ 社として増便や路線変更などに取り組んでいきたいと考えているものの、乗務員不足、2024年問題がある中、市民ニーズを取り入れることが困難な実情をご理解いただきたい。
- ・ 全国的にも乗務員不足は深刻化しており、今後も続くことが予想されるため、辛抱いただきたい。

(4) その他、全体を通じた質疑応答

(高田委員)・ <u>協議会の今後のスケジュールについて、分かる範囲でご教示ください。</u> (事務局)・ <u>確認の上、別途お知らせする。</u>

(5) 閉 会